



# ŌMIYA NEWS



No.174 2024年4月29日 JR東労組大宮地本

## 「浦和統括センターの新設及び車掌業務の移管について」の提案を受けました！

4月25日、大宮支社より「浦和統括センターの新設及び車掌業務の移管について」の提案を受けました。内容は以下のとおりです。

グループ経営ビジョン「変革 2027」の目指す「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向け、システムを超えて新たな価値の創造を一層推進していく観点から、以下のとおり現業機関を新設し、これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方を更に実現していく。また、千葉支社に船橋統括センターを新設し、車掌業務の一部を移管する。

### 1. 実施内容

- (1) 「浦和統括センター」を現業機関として新設する。
- (2) さいたま車掌区が担当している武蔵野線・京葉線車掌業務を船橋統括センターの発足とともに千葉支社へ移管する。

### 2. 実施箇所

統括センターは、以下の現業機関を融合して新設する。

新設する現業機関	融合する現業機関
浦和統括センター	浦和東営業統括センター、さいたま車掌区、さいたま運転区

### 3. 実施日

2024年12月

### 4. スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
社員周知	▼								
ワーキング		■	■	■	■	■	■	■	■
トライアル		■	■	■	■	■	■	■	■
教育・訓練等		■	■	■	■	■	■	■	■
施策実施									実施

### 5. その他

- (1) 統括センターの円滑な運用に向けて必要な教育・訓練等は実施する。
- (2) 統括センターの体制等の詳細については、別途お知らせする。
- (3) 2021年12月に提案した「武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編による車掌業務の移管について」については、本提案をもって廃案となる。
- (4) 必要な準備は順次進めていく。

## ～提案時の議論要旨～

### ■ 廃案について

- ・大宮運輸区（仮称）の廃案時に2度と起こさないと確認したことから重く受け止めている。
- ・千葉支社としても廃案は異例であり、重いことである。
- ・2021年に提案した際には、統括センターの考えはなかったが千葉支社管内に運輸区が一つだけになること、これまで5つの統括センターを作ってきた経験に踏まえ、船橋統括センターは可能と判断した。
- ・今後は春の面談でコミュニケーションを取っていく。基本は交渉を踏まえて面談等を行う予定。

### ■ 浦和統括センターについて

- ・実施時期は12月となる。船橋統括センター発足に伴い、さいたま車掌区の業務移管がされるタイミング。
- ・規模は現行の職場を合わせると550名となり、移管される業務を引いた規模となる。
- ・浦和西営業統括センターが別になったのはエリアの関係。在り方として京浜東北線や南浦和駅から東側の部分を融合した。
- ・統括センターの拠点駅は浦和駅。現在のところ職場の箇所の変更はない。
- ・ワーキングなど必要な業務があれば今の兼務が継続される可能性がある。
- ・他駅勤務の考えについては現行のやり方と変わらない。
- ・出札は浦和駅、信号は南浦和駅。スキル向上への計画性が重要である。
- ・さいたま車掌区の業務移管により、武蔵野線の乗務行路はなくなり、京浜東北線の行路のみとなる。